

(様式)産業系用

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

申請者の住所及び氏名（法人にあつては所在地、名称、代表者氏名）

大阪府羽曳野市川向 2084 番地

三栄基準寝具株式会社

代表取締役 吉川 武

1. 工場又は事業場の概要

工場又は事業場の名称	三栄基準寝具株式会社		
工場又は事業場の所在地	大阪府羽曳野市川向 2 0 8 4 番地		
資本金	3,200 万円	(全社) 従業員数	117 人
		(当工場)	72 人
産業分類 (中分類)	リネンサプライ業 7813	主要製品名	寝具
工場又は事業場の特定施設 (番号、名称、基数)	第 67 号 洗濯業の用に供する洗淨施設 5 基		
汚水等の量	通常 123 m ³ /日、最大 248 m ³ /日		
汚水等の処理の方法	接触曝気・凝集沈殿・活性炭吸着		

2. 許可申請の概要及びその理由

①洗濯業の用に供する洗淨施設を更新

特定施設の老朽化により 1 基を更新する。なお当該更新により水量及び汚濁負荷量に変更はない。

3. 工場又は事業場の各排水口における排水の汚染状態の通常値及び最大値、当該排水の一日当たりの通常値及び最大値並びに当該排水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現状				設置(変更)後				負荷量の増減 (kg/日)	
		水量・水質		負荷量(kg/日)		水量・水質		負荷量(kg/日)		通常	最大
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
No.1	排水量 (m ³ /日)	119	243			同左					
	pH (—)	5.8~ 8.6	5.8~ 8.6								
	BOD (mg/L)	10.2	12.8	1.214	2.479					±0	±0
	COD (mg/L)	10.2	12.8	1.214	2.479					±0	±0
	SS (mg/L)	16	20	1.904	3.888					±0	±0
	T-N (mg/L)	8	8	0.952	1.944					±0	±0
	T-P (mg/L)	2	2	0.238	0.486					±0	±0
	n-Hex抽出物質 (mg/L)	4	8	0.476	0.972					±0	±0
	溶解性鉄 (mg/L)	9	10	1.071	2.187					±0	±0
溶解性マンガ (mg/L)	0.6	10	0.071	0.146	±0	±0					
No.2	排水量 (m ³ /日)	3	3			同左					
	pH (—)	7	5.8~8.6								
	BOD (mg/L)	20	25	0.060	0.060					±0	±0
	COD (mg/L)	20	25	0.060	0.060					±0	±0
	SS (mg/L)	20	25	0.060	0.060					±0	±0
	T-N (mg/L)	10	20	0.030	0.030					±0	±0
	T-P (mg/L)	4	4	0.012	0.012					±0	±0
	大腸菌数 (CFU/ml)	800	800	-	-					-	-
	アンモニア等 (mg/L) NO ₂ +NO ₃ +0.4NH ₄	8	16	0.024	0.024					±0	±0
No.3、 4		雨水専用				同左					

排水口	区分 項目	現状				設置(変更)後				負荷量の増減		
		水量・水質		負荷量		水量・水質		負荷量				
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
No.5	排水量 (m ³ /日)	1	2			同左						
	pH (—)	6.5-7.5	6.5-7.5									
	BOD (mg/L)	2	4	0.002	0.004					±0	±0	
	COD (mg/L)	2	4	0.002	0.004					±0	±0	
	SS (mg/L)	1未満 (※1)	1	0.001	0.002					±0	±0	
	T-N (mg/L)	0.1	0.2	0.000 (※2)	0.000 (※2)					±0 (※2)	±0 (※2)	
	T-P (mg/L)	0.1	0.2	0.000 (※2)	0.000 (※2)					±0 (※2)	±0 (※2)	
	溶解性鉄 (mg/L)	0.05	0.1	0.000 (※2)	0.000 (※2)					±0 (※2)	±0 (※2)	
	溶解性マンガン (mg/L)	0.05未満 (※1)	0.05	0.000 (※2)	0.000 (※2)					±0 (※2)	±0 (※2)	
No6-15		雨水専用				同左						
総合	排水量 (m ³ /日)	123	248			同左						
	pH (—)											
	BOD (mg/L)			1.276	2.543	同左				±0	±0	
	COD (mg/L)			1.276	2.543					±0	±0	
	SS (mg/L)			1.965	3.950					±0	±0	
	T-N (mg/L)			0.982	1.974					±0	±0	
	T-P (mg/L)			0.250	0.498					±0	±0	
	n-Hex (mg/L)			0.476	0.972					±0	±0	
	溶解性鉄 (mg/L)			1.071	2.187					±0	±0	
	溶解性マンガン (mg/L)			0.071	0.146					±0	±0	
	大腸菌数(CFU/ml)											
	アンモニア等 (mg/L) NO ₂ +NO ₃ +0.4NH ₄			0.024	0.024					同左		±0

※1 汚染状態の値が1未満は1、0.05未満は0.05とし負荷量を計算

※2 小数点4桁の数値は四捨五入してゼロと表示

備考：最大負荷量 (kg/日) = 最大排水量 (m³/日) × 通常水質 (mg/L) × 10⁻³

通常負荷量 (kg/日) = 通常排水量 (m³/日) × 通常水質 (mg/L) × 10⁻³

4. 工場又は事業場の排出口の位置及び数並びに汚水等の処理系統

(1) 排出口の位置及び数

別図 2-2 のとおり 15 本 (内雨水専用 12 本)

(2) 汚水等の処理系統 排水口

特定施設・濾過機・ホイラー → 排水処理施設 → No. 1

生活排水 → 浄化槽 → No. 2

雨水 → No. 3, 4, 5, 6~15

井戸水 → 軟水機 → No. 5

5. 工場又は事業場の排出口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他環境保全上の目標に関する事項

(1) 排水経路 (別図 2 参照)

排出先の河川・海域名	用水路	飛鳥川	石川
環境基準点	—	円明橋	石川橋
環境基準類型	—	C、生物B	A、生物B

(2) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L 以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
鉛	0.01 mg/L 以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
六価クロム	0.02 mg/L 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L 以下
砒素	0.01 mg/L 以下	チウラム	0.006 mg/L 以下
総水銀	0.0005 mg/L 以下	シマジン	0.003 mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/L 以下
PCB	検出されないこと	ベンゼン	0.01 mg/L 以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	セレン	0.01 mg/L 以下
四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L 以下		
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	ふっ素 (※)	0.8 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L 以下	ほう素 (※)	1 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L 以下	1,4-ジシロキサン	0.05 mg/L 以下

(※) 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

(3) 生活環境の保全に関する環境基準

(河川・海域)

類型	基準値								
	pH	BOD mg/L	COD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	大腸菌数 CFU/100mL	油分 等 mg/L	T-N mg/L	T-P mg/L
A	6.5 以上 8.5 以下	2 以下	—	25 以下	7.5 以上	300 以下	—	—	—
C	6.5 以上 8.5 以下	5 以下	—	50 以下	5 以上	—	—	—	—
生物	全亜鉛 (mg/L)			ノニルフェノール (mg/L)			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (mg/L)		
B	0.03 以下			0.002 以下			0.05 以下		

(4) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

① ダイキソ類対策特別措置法に基づく環境基準

ダイキソ類 1 pg-TEQ/L

② その他

特に無し

6. 周辺公共水域の現況その他当該水域の現況に関する事項

(汚濁負荷量が増加しない場合)

(1) 周辺公共用水域の現況

出典資料名：令和5年度大阪府域河川等水質調査結果報告書

(河川域)

環境基準点		pH	BOD mg/L	COD mg/L	SS mg/L	T-N mg/L	T-P mg/L	n-Hex mg/L	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/L	DO mg/L
飛鳥川 (円明橋) C	最小	7.1	1.0	4.9	3	0.86	0.11	<0.5	0.27	8.3
	最大	8.6	14	13	15	2.7	0.20	<0.5	1.4	15
	平均	—	3.3	6.5	8	1.9	0.17	<0.5	0.84	10
生物 B	全亜鉛 (mg/L)			ノニルフェノール (mg/L)			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (mg/L)			
	0.012			<0.00007			0.0087			
石川 (石川橋) A	最小	8.0	0.5	2.3	1	0.34	0.040	<0.5	0.11	7.9
	最大	8.7	2.8	4.9	9	1.3	0.096	<0.5	1.2	13
	平均	—	1.0	3.0	3	0.90	0.066	<0.5	0.74	10
生物 B	全亜鉛 (mg/L)			ノニルフェノール (mg/L)			直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (mg/L)			
	0.004			<0.00006			0.0020			

(2) 当該水域の現況に関する事項

事業場下流の水路は、農業用水として利用されている。

7. 排出水の排出に伴い予測される周辺公共水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法

(1) 汚濁負荷量の増加の有無（有・無）

※汚濁負荷量の増加がないため、(2) 以下は省略

8. その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

(1) 特定施設の管理体制

工場従業員内で管理チームを設け、毎日点検。

(2) 污水处理施設の管理体制

工場従業員内で担当者 2 名をおき、交代で管理。

(3) 排出水の分析体制

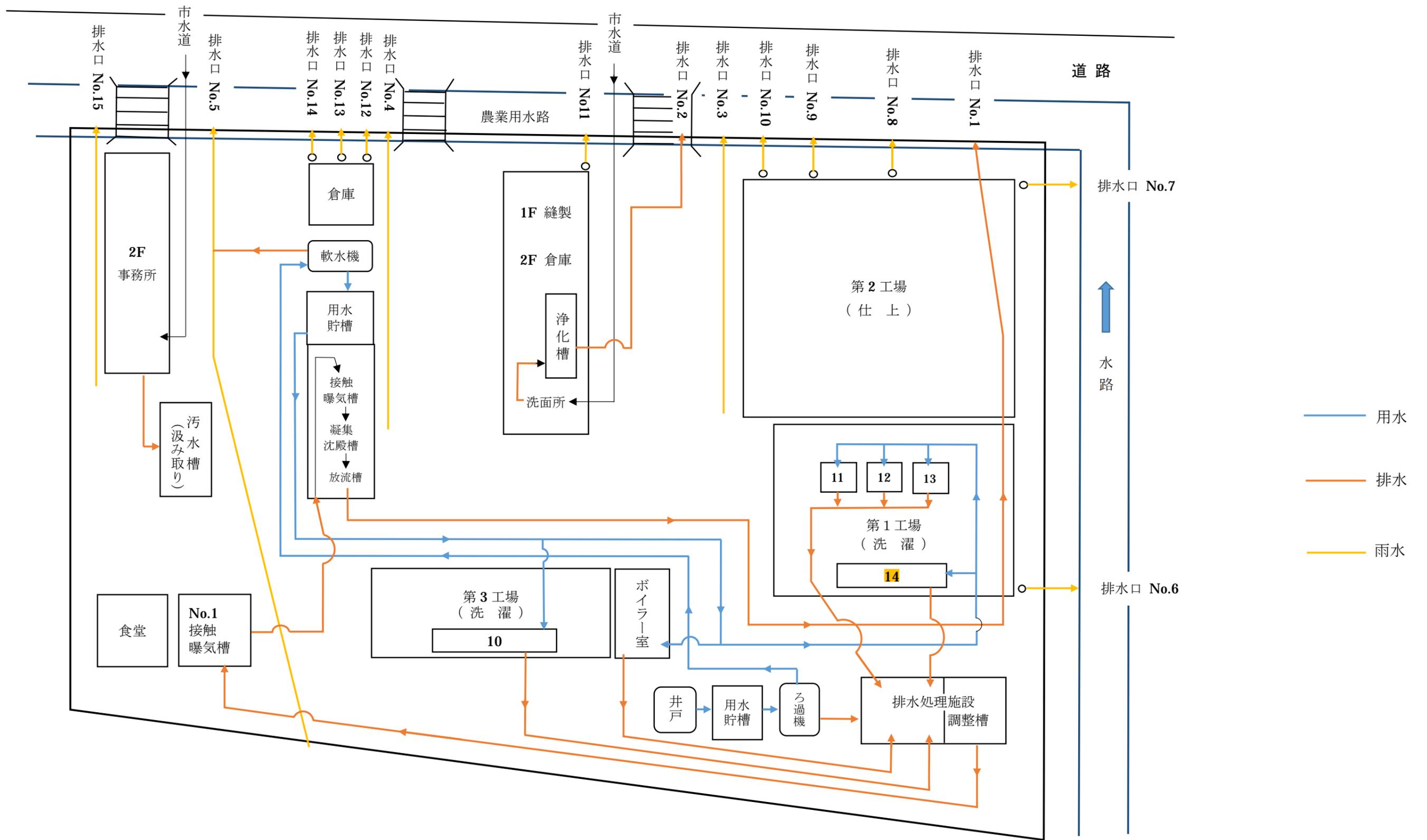
排水口	項目	頻度
No. 1 No. 5	pH、BOD、COD、SS、T-N、T-P、n-Hex	1回/月
	溶解性鉄、溶解性マンガン	1回/年
	COD、T-N、T-P	1回/14日
No. 2	pH、BOD、COD、SS、T-N、T-P、大腸菌数、アンモニア等	1回/年
	COD、T-N、T-P	1回/3月

(4) 用途地域

市街化調整区域

(5) その他参考となる事項

特になし。



別図 2-2 用水・排水系統図 (変更後)

